

## 第4回 北広島市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議 会議概要

日 時	平成27年11月18日(水) 15:00~16:30
場 所	市役所本庁舎2階会議室
出席委員	山本一彦委員・麻生昌裕委員・井出真也委員・小野麗子委員・笠井孝一委員 穴戸圭子委員・田辺きよみ委員・丹野司委員・藤山康雄委員・深村真人委員・ 富士原孝浩委員・古澤将委員・宮岡則昭委員・山口隆弘委員
欠席委員	鈴木宏一郎委員
事務局	中屋企画財政部長・川村企画財政部次長・橋本企画課主査・山田主任・ 安井主事
傍聴者	2名
会議次第	1 開会 2 報告 (1) 第3回推進会議の振り返り (2) 人口ビジョン(案)について 3 議事 (1) まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)について (2) 次回推進会議の日程 (3) その他 4 閉会

### 1 開会

- ・ 委員 15 名中 13 名が参加。委員の過半数が出席していることにより、会議が成立していることを報告。

### 2 報告

#### (1) 第 3 回推進会議の振り返り

(事務局より資料に沿って説明)

- ・ 委員から異議等がなく了承された。

#### (2) 人口ビジョン（案）について

(事務局より資料に沿って説明)

- ・ 委員から異議等がなく了承された。

### 3 議事

#### (1) まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）について

##### 【会 長】

- ・ 4 つの基本目標に沿って、1 つずつ進める。「子どもを産み育てたいという希望を叶える」について、事務局より説明願いたい。

##### 『希望』～子どもを産み育てたいという希望を叶える～

〔 事務局より、戦略の構成（趣旨、位置付け、推進期間、基本方針、推進管理、基本目標など）を含め、資料に沿って基本目標 1 の内容を説明。 〕

- ・ 意見等は無し。

##### 『交流』～北広島市への新しい人の流れをつくる～

(事務局より資料に沿って基本目標 2 の内容を説明)

##### 【A 委員】

- ・ 「地域の特色を生かした観光推進」の KPI は、観光入込客数を 789 千人から 850 千人に増やすとしているが、具体的な施策・事業はインバウンド観光に特化した内容となっている。KPI も訪日件数等になるのではないか。もしくは事業内容を修正する必要がある。

##### 【事務局】

- ・ 施策の狙いとしては、外国人観光客を増やししながら、道内、道外客も視野に入れて実施するので、記載方法を見直す。

## 【会 長】

- ・他に意見等が無ければ、基本目標 3 に移る。事務局より説明願う。

## 『成長』～時代に合った魅力的なまちをつくる～

(事務局より資料に沿って基本目標 3 の内容を説明)

- ・意見等は無し。

## 『挑戦』～チャレンジできる環境をつくり、起業と雇用を促進する～

(事務局より資料に沿って基本目標 4 の内容を説明)

- ・意見等は無し。

## 【会 長】

- ・意見等はないが、戦略策定前の最後の会議であるため、委員一人ずつ意見や感想等をいただきたい。

## 【B委員】

- ・3回の推進会議の主な意見は加味されている。
- ・今後は具体策が重要になってくる。

## 【C委員】

- ・3つの基本方針について説明願いたい。

## 【事務局】

- ・人口ビジョンにも考え方は記載した。人口問題は行政が考えるものという流れがあったが、市民の皆さんも現状を受け止め「共有」して欲しい。また、これまでも人口減少問題は市において「最重要課題」として挙げてきたが、あえて再度示した。市民全体の想いをひとつにまとめたものが戦略であり、それを「実現」しようという3本の柱である。

## 【C委員】

- ・地域経済縮小に対する取り組みも盛り込んで欲しい。

## 【事務局】

- ・文言として書き込みで表現を入れる。

## 【D委員】

- ・具体施策についても市民を巻き込んで考えていけたら市民全体で取り組める。例えば「ふるさと納税」の返礼品検討時に市職員だけでなく、市民、商工会、農協関係者などを入れると、市民の意識も高まるのではないかと。

## 【事務局】

- ・市民意見を聞きながら進めていかなければならない施策はあるので、十分考えながら取り組む。

#### 【E委員】

- ・ 人口減少問題について、市民と意識を共有するところに立ち返り、取り組んでいくという姿勢はとても有意義である。
- ・ より良いまちづくりは、すでに住んでいる人に住み続けてもらうことに対して有効であるが、人口減少に対しては取組みが不足している。数値目標が先立っていて、施策効果では目標に追いつかないのではないか。

#### 【事務局】

- ・ 合計特殊出生率について、1.09（平成20～24年の平均）を平成32年までに1.3に上げるのは非常に厳しい数値だと認識している。
- ・ 人口推計は、現実には統計上示されているものになっていくのかもしれないが、何もせずにいるわけにはいかない。少しでも即効性のある施策に取り組む、市民に伝わり、意識が変化し、それが広がって、課題解決に少しでもつながっていけばという希望を持って進めていきたい。

#### 【F委員】

- ・ 人口増のための魅力創出は難しいが、希望を持てる文言が多く、良い戦略である。
- ・ 市民が理解（認識）しているかが問題である。人の集まる場所にポスター掲示するなど、市民周知が大事である。

#### 【G委員】

- ・ 予算が関係してくるため、戦略どおりに実行できるのか疑問である。

#### 【事務局】

- ・ 地方創生に関しては、国の100%補助金で実施する方向で始まったが、1/2補助（地方が1/2負担）になったり、交付税措置があるといいながらも次年度の交付金はどうなるかまだ数字が見えてこない。しかしながら、人口減少問題は市の最重要課題と位置付けて取り組むこととし、戦略の施策は計画期間内に着手し進めていく。

#### 【H委員】

- ・ 市民満足度は個別の満足度は低いものの、住み良いと感じる割合が高いという結果になっている。これは正しい数値として使えるのか。
- ・ 戦略にある支援事業は税金を投入するのみである。税金を増やすにはどうするのが一番重要ではないか。

#### 【事務局】

- ・ 個別の満足度は「普通」の回答が多いため、どちらかといえば住み良いという結果になっている。少し説明等加える。
- ・ 税金確保は大変重要である。未来への投資であると考えている。立地適正化計画により商業施設を呼び込み税金を確保したり、工業団地を造成し、企業を誘致して税金を確保するなど、ただ支出するだけに終わらないよう考えている。

**【I 委員】**

- ・ 魅力ある事業が多く盛り込まれているが、他の市町村も同じように施策を考え戦略を作成している中で、北広島市に縁が無い人を呼び込むのはハードルが高い。若い世代にどういう風に発信し広報していけるかが一番大事であり、今後期待したい。

**【事務局】**

- ・ 昨年まで市外に対してのPRを中心に取り組んできたが、市民のクチコミが一番大きなPRであると感じている。シビックプライドをもって、住んでいる方が「うちのまちは良いまちだ」と自慢していただけるよう進めていく。

**【J 委員】**

- ・ 戦略が全て実現されれば北広島の発展につながっていく。いかに実現していくか期待したい。
- ・ 「魅力ある教育環境の整備」にある小中一貫教育推進事業は市内の中学校区全てにおいてということか。

**【事務局】**

- ・ まだ施策の検討段階ではあるが、施設体系は別として、小中一貫連携ではなく小中一貫教育として9年間のカリキュラムを組む環境を全小中学校に導入したい。

**【J 委員】**

- ・ この取組みは、お金をあまりかけずに子どもをしっかりと育てていく良い取組みである。子どもの教育にはお金をかけていかないと次の世代の人材が育っていかないとと思うので大事にして欲しい。

**【K 委員】**

- ・ ターゲットとして市外から市内に通勤する方は移住の可能性が高い。
- ・ 数値目標は非常に厳しい。もう少し手の届くような現実的な数値、噛み砕いた指標をおいた方がよい。

**【L 委員】**

- ・ 基本目標の順番を変更した理由はあるか。

**【事務局】**

- ・ 全ての基本目標が大事ではあるが、基本目標1から前面に出していきたいという思いである。子どもを産む世代の人口が減り、合計特殊出生率が低い現状にまずは取り組みたい。次に、新しい人の流れをつくるというストーリー的な基本目標の流れにし、最後に雇用関係を記載して土台を支えるというつくりにした。

**【L 委員】**

- ・ 北海道の戦略も一番に子育てを記載している。全国的に出生率が低い都市ランキングのワースト10の中に北広島市が入っているが、市民には知られていない。

- 市民全体で認識を共有し何をしたいか考えていくことが大事である。
- ・ 官民連携、地域連携、近隣市町村との連携、市以外との連携など「連携」を大事にして取り組んで欲しい。
  - ・ 「ひと」への投資として大学の進学支援については、他自治体ではっきり打ち出されているところは無いので、非常に良いポイントである。
  - ・ 「まち」では、公共交通ネットワークなどまちづくりについて市の特徴として主体的に書かれており、官民共同で地域を挙げて検討し推進して欲しい。
  - ・ 「しごと」は起業をポイントに書かれており、全体的に評価できる内容である。
  - ・ 働き方の見直しは重要であり、ワーク・ライフ・バランスをどう進めるかが自然増を目指す中で大切であるが、市ができる範囲は限られている。地域で考えていく必要があり、「市民の希望を叶える」とは、市民が希望を持てるようになるマインドを高めることにつながる。

#### 【M委員】

- ・ 札幌市で清田区だけ人口が増加している。車の保有率も1番である。清田区と連携を図っていくなど、市以外との連携も考えて欲しい。

#### 【N委員】

- ・ 素案には、3回の推進会議が網羅されている。
- ・ 子どもに向かってのメッセージを追加できないか。進学等で他のまちに転出しても「北広島市はいいまちだった」と思い出したり、出会った人に伝えたりしてもらえるように、ふるさと意識の醸成について入れ込んで欲しい。

#### 【会 長】

- ・ 議事(2) 次回推進会議の日程について、事務局より説明願う。

#### (2) 次回推進会議の日程

- ・ 次回推進会議は2月下旬開催を考えている。
- ・ 平成28年度当初予算も概ね見えてくるので状況も説明したい。
- ・ 次回開催日については事務局が後日日程調整する。

#### (3) その他

- ・ 今後のスケジュールについて、12月1日に本部会議開催。1月パブリックコメント実施。2月本部会議にて戦略を確定。同月下旬に推進会議開催。年度内策定を予定している。
- ・ 金融機関との連携協定について、11月5日に株式会社北洋銀行、11月6日に株式会社北海道銀行、札幌信用金庫とそれぞれ連携協定を締結した。主に空き家対策について協力していく予定。

## 4 閉会